

DECISION

Request No.: 02

Protest and Request for Redress

Event: 令和5年度近畿北陸学生ヨット夏季大会 Pre event Race Number: 4
Hearing Schedule: 2023-06-24 18:30

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 02: スナイプ - 31347 - 31392 - 航太 荒瀬

Race Committee

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Hail not required

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

レース委員会の当事者として、レース委員長の岡田氏が出席した。

FACTS FOUND

スナイプ級第4レース。

レース委員会は、スタート5分前にスナイプ旗を掲揚し、スタート4分前にブラック旗を掲揚した。

スタート1分前、18号艇はスタートラインよりも風下側の位置にあった。これからスタートの間まで、18号艇はスタートラインの両端と最初のマークで作られる三角形の中に侵入することはなかった。

クラス旗の降下後、レース委員会は第一代表旗を掲揚しレースはゼネラルリコールとなった。

その後、レース委員会は次の予告信号を発するまでの間に本部船のスターンにスタート1分前までにスタートラインの両端と最初のマークで作られる三角形の中にあることを特定したとする艇のリコールナンバーを掲示し、その中には誤って18号艇が記載されていた。

18号艇は再スタートしたレースを帆走せず、レース委員会は18号艇を第4レースにおいてBFDとして得点を与えた。

Diagram: No Diagram Needed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 62.1(a)

18号艇の第4レースでの得点は、その艇の過失ではなく、レース委員会の不適切な処置により明らかに悪くなった。

従って救済要求規則62.1(a)の要件を満たしている。

DECISION

救済を与える。18号艇に本大会全レースの平均点を第4レースに与える。

Date & Time: 2023-05-24 18:50 JST

PROTEST COMMITTEE

Committee Type: Protest Committee

Chaired By: Kenji Kagatani (JPN)

Committee Members: Tsunagu Enami (JPN), Joden Tetsu (JPN), Motoya Tafuku (JPN)